

読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

岡山交通誘導警備会社が設置した交通安全のメッセージをユニークに伝える看板が、注目を集めています。記事を読み、質問に答えましょう。

「お酒飲んだら運転しちゃダメでしょー」や「やだあ～煽らないでえ」。警備服姿の男たちがちゃめっ気たっぷりのポーズで交通安全のメッ

ッセージを送る。そんなユニークな看板が岡山市内のあちこちの幹線道路沿いにお目見えし、ドライバーの目を引いている。(小野祐香)

「飲んだら運転ダメでしょー」「やだあ～煽らないでえ」

交通安全 ちゃめっ気看板

岡山の警備会社



ちゃめっ気たっぷりに飲酒運転防止を呼び掛ける看板。従業員がモデルを務めている＝岡山市北区駅元町

25カ所 従業員らモデル

シートベルトの装着を訴える看板は、ふさぎ込んだ警備員の肩に手を掛けた同僚が「シートベルトしないからつられたんだったって?」。ゆとりある

と赤い旗を持って笑顔でいる。あまりウインカー運動を促す看板は「まあ、語りかける。まあ、そんなに焦らずに」。内容も時勢に合わせて

設置したのは交通誘導警備会社「KIG」(岡山市北区春日町)。昨年7月から国道2号をはじめ、JR岡山駅近くや山陽新幹線沿いの幹線道路など通行量の多い25カ所に取り付けた。モデルは同社の従業員や趣旨に賛同した協力会社の関係者たちだ。



アイディアは社内です。合って決める。「少しでもドライバーの目に留まるよう、あえてくだけた文言やユーモアのあるポーズにしている。交通安全の意識を高めてもらいたい」と田代さんは話

きっかけは約2年前。当時35歳だった男性従業員が業務時間外に自転車で岡山市内を走行中、自動車と衝突して亡くなった。田代康介社長(36)は「真面目に頑張っていた仲間がショックだった。看板は1件でも交通事故が減ってほしいという思いを込めた」と言う。

シートベルト装着を訴える看板は岡山市北区花尻あかね町

を出さない県民性が話題になると、ウインクした警備員が親指を立てて「ウインカー出そうぜ」と呼び掛ける看板を設置。昨年12月にスマートフォンを操作しながら運転する行為の罰則が強化されると「ながら運転」防止の警告板を作った。

8月25日付、山陽新聞朝刊おくらプラス

Q1 ★★★★★

看板には、どんな交通安全のメッセージが書かれていますか。見出しや写真などから書き出しましょう。

Q2 ★★★★★

岡山の警備会社はなぜユニークな看板を設置しているのでしょうか。第5、6段落を読んで答えましょう。

Q3 ★★★★★

小学生に交通安全を呼び掛けるユーモアのあるメッセージを考えましょう。

言葉も写真も印象に残る看板だね!



★の数(かず)は問題の難易度(なんいど)を表(あらわ)しています。